

## 海外修学旅行（台湾）報告

平成 27 年度(第 29 期生)の修学旅行は、目的地を計画当初のマレーシアから台湾へと変更し、平成 28 年 1 月 11 日(月)から 13 日(水)の日程で実施しました。

### 1 日目



1 月 11 日の早朝に羽田空港に集合。1・2・7 組は JAL 便、3～6 組は EVA 便での出発。台湾の松山空港までは約 3 時間のフライトです。



羽田空港の搭乗ゲート付近。出国審査も無事に終えて、まもなく搭乗開始です。2泊3日の台湾修学旅行のスタートです！



台湾・松山空港に到着。EVA 便は乱気流の影響で、気体が激しく揺れてしまい、具合が悪くなってしまった生徒もいたようです。



初日の天候は残念ながら小雨となってしまいましたが、初めての海外旅行という生徒も多く、みんな元気いっぱいの様子です。

1日目・午後

松山空港に到着後、クラスごとにバスに乗り、台北市内を観光しました。龍山寺と中正紀念堂を見学しました。夕食後は、士林夜市でグループ行動を楽しみ、ホテルに到着しました。



台北の中心にある龍山寺。平日にもかかわらず、たくさんの方が参拝に訪れていました。参拝の方法も日本とは異なり、勉強になりました。



龍山寺には商売・旅行・健康・恋愛など多くの神様が祀られています。参拝者は7つの香炉を順に回りながらお祈りしていました。



中正紀念堂は、中華民国初代総統の蒋介石の活躍を紹介する博物館です。タイミングよく、衛兵の交代儀式を見学することができました。



免税店でのお買い物。南国らしいパイナップルやマンゴーを素材にした菓子が売られていました。店員さんの勢いに圧倒される生徒が続出でした。



夕食はモンゴリアン・BBQを楽しみました！



士林夜市での1コマ。お祭りの屋台のようでした。

## 2日目・午前

2日目の午前は、台北北部の観光地「九份」を訪問するコース、台湾名産のパイナップルケーキ作りを体験するコース、台湾茶を体験するコースに分かれての行動になりました。



九份は、アニメ「千と千尋の神隠し」の舞台のモデルになった場所と言われています。どこかノスタルジックな雰囲気漂っていました。



九份・「阿妹茶酒館」前でのスナップ写真。背景には「湯婆婆的湯屋」のポスターが見えます。夕方は提灯の灯りが幻想的だと言われています。

## 2日目・午後

2日目の午後は、東呉大学(外国語学部)の学生とのB&Sプログラムを実施しました。グループごとにホテルを出発し、大学生の案内のもとで台北市内を散策しました。観光ツアーでは行けないようなローカルスポットやB級グルメを楽しめたようです。英語の勉強にもなりました！



台北市内のランドマーク的な「台北101」前での記念撮影。頼りになる大学生の案内で、台北市内を楽しく散策することができました。



西門町繁華街でのスナップ写真。漢字だらけの看板にもだいぶ慣れてきました。タピオカ、小籠包、マンゴーアイスは、とても美味とのことでした。

### 3日目

最終日は、世界四大博物館のひとつとも言われる「故宮博物院」と建国のために命を落とした戦没者を祀った「忠烈祠」を見学しました。昼食は台北市内のレストランで飲茶を満喫しました。



故宮博物院では、古代中国の美術品を見学することができました。しかし、もっとも有名な翡翠の白菜は残念ながら展示されていませんでした。



台湾の旗がたなびく忠烈祠でのスナップ写真。中正紀念堂と同じく、この場所でも衛兵が微動だせずに門番をしていました。



昼食は台湾式の飲茶を楽しみました。



台湾・松山空港にて最後の記念撮影。

これまで、大和西高校ではマレーシア修学旅行（B&S、学校交流、カンポンビジット）を実施してきました。しかし、昨今の国際情勢を考慮した結果、第29期生の修学旅行は、当初のマレーシアから台湾へと変更して実施しました。目的の1つである英語を使ってコミュニケーションが図れるのかという心配の声もありましたが、東呉大学の学生の英語コミュニケーション力は、本校の生徒たちにとって良い刺激となり、英語力を試す実践の場となりました。

また、同じアジア圏の文化といえども、「国が異なると文化も異なる」ということを肌で実感できたということは、生徒にとっては貴重な体験になったことと思います。今後も大和西高校では、グローバルな視点を育むという観点で、引き続き海外修学旅行を実施していきます。